

第Ⅱ章

県土の景観概況

① 県土景観の骨格を成す3つの要素

1. 風土の基礎となる地形的特性
2. 心象に強く残る特長的な要素群
3. 川や道路に沿って形成される社会環境

② 県土の景観概況

1. 県土の景観概況
2. 景観から見た地域区分
3. 各地域における景観特性と景観形成・保全上の課題

1 県土景観の骨格を成す3つの要素

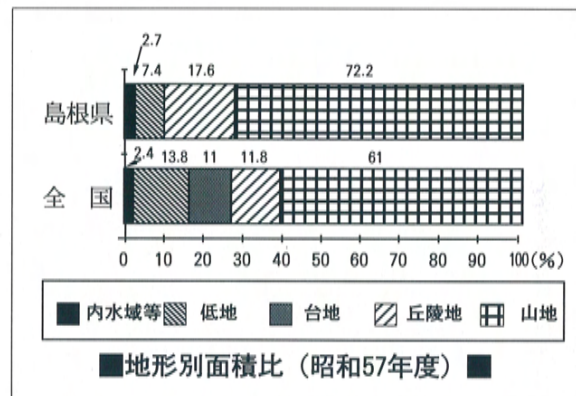
本県の景観は、海や川、湖、山地、島嶼といった豊かな自然・風土と、古代より栄えてきた我が国でも有数の歴史・文化、また、これらを背景として今日まで築かれてきた各地域社会の態様から成立しているといえます。即ち、県土景観は、その風土の基礎となる地形的特性を根幹に据え、地域において人々の心象に強く残る特徴的な要素群（景観を印象づける資源・地域）、或は、風土に対応して築かれた社会生活の態様としての川や道路に沿って形成される社会環境（そこに育まれる社会活動を含む）が互いに関係しあって形成され、且つまた変化していくものであると考えられます。

そこで、この3つの要素を“県土景観の骨格を成す3つの要素”として捉えることとします。

1. 風土の基礎となる地形的特性

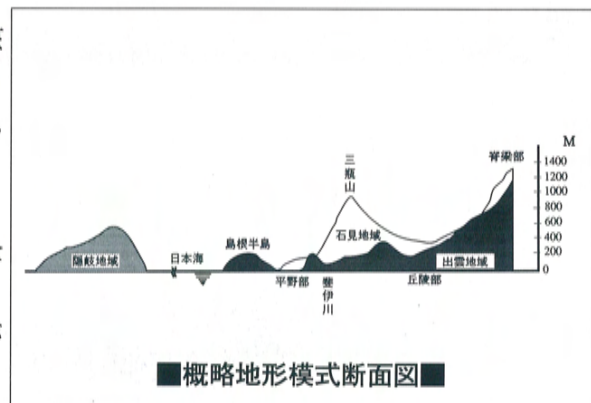
<県土の9割を占める山地・丘陵地>

- 県土の約89.8%が山地・丘陵地地形で占められ、平地は全体の10%程度である。
- 平地は、出雲平野、安来平野等の比較的まとまった規模のものが出雲地域に見られるが、その他のほとんどは、狭小な谷底平野や山間盆地部の小規模なものである。



<三段の侵食面からなる地形構造>

- 出雲地域では東西に、石見地域では北東～南西方向の地形配列が発達している。
- 隣接する広島県や岡山県に見られる吉備高原面に該当する顕著な台地面は見られないが、この配列に沿って、山地、丘陵地、平地の三段構造の地形を呈する。



<長大で変化に富んだ海岸線>

- 本県の海岸線は、総延長1,027kmと、その長さは全国有数（第10位）である。
- 出雲地域の島根半島ではリアス式の険しい海岸線が続き、石見地域では直線的な砂丘海岸が多い。

<河川と湖沼>

- ほとんどの河川は中国山地に水源を発し、江の川、斐伊川等を除いては、概して流路延長が短く急流である。これらの河川の中・上流域には数多くの渓谷や滝が形成され、河川景観に変化を与える要素となっている。
- 本県には6つの主要湖沼が存在し、特に宍道湖、中海の二大湖は本県のシンボルとなっている。

<島嶼部>

- 隠岐諸島は、焼火山の外輪山に当たる島前3島と島後、及び180余の無人島から成る。
- 海岸線は屈曲に富んだ典型的なリアス式海岸を呈し、至る所に豪壮な海蝕崖或は巨岩怪石の景観を形成している。 地域区分 地域別景観形成の方向

2. 心象に強く残る特徴的な要素群

<自然的要素>

- 島根半島の変化に富んだリアス式海岸
- 本県の景観的シンボルである宍道湖・中海
- 全国に誇るべき出雲平野の築地松
- 秀麗な山容を呈する三瓶山
- 特徴的な砂州が見られる斐伊川
- 白砂青松の直線的な石見地域の海岸線
- 緑濃い中国山地の山並み
- 雄大さを感じる江の川
- 静寂な雰囲気呈する各所の溪谷
- 豪壮・奇景の展開する隠岐諸島

等



<歴史・文化的要素>

- 出雲大社をはじめとした神話の国出雲を象徴する神社群
- 静寂な印象を与える鱒淵寺等の仏閣
- 松江城を中心とした塩見繩手の歴史的な街並み
- 日御碕、地藏崎の白亜の灯台
- 山陰の小京都津和野の街並み
- 特徴的な石州瓦の街並み
- 流人の島隠岐を特徴づける神社・仏閣
- 背後に山並みの迫った天然の良港に展開する漁港

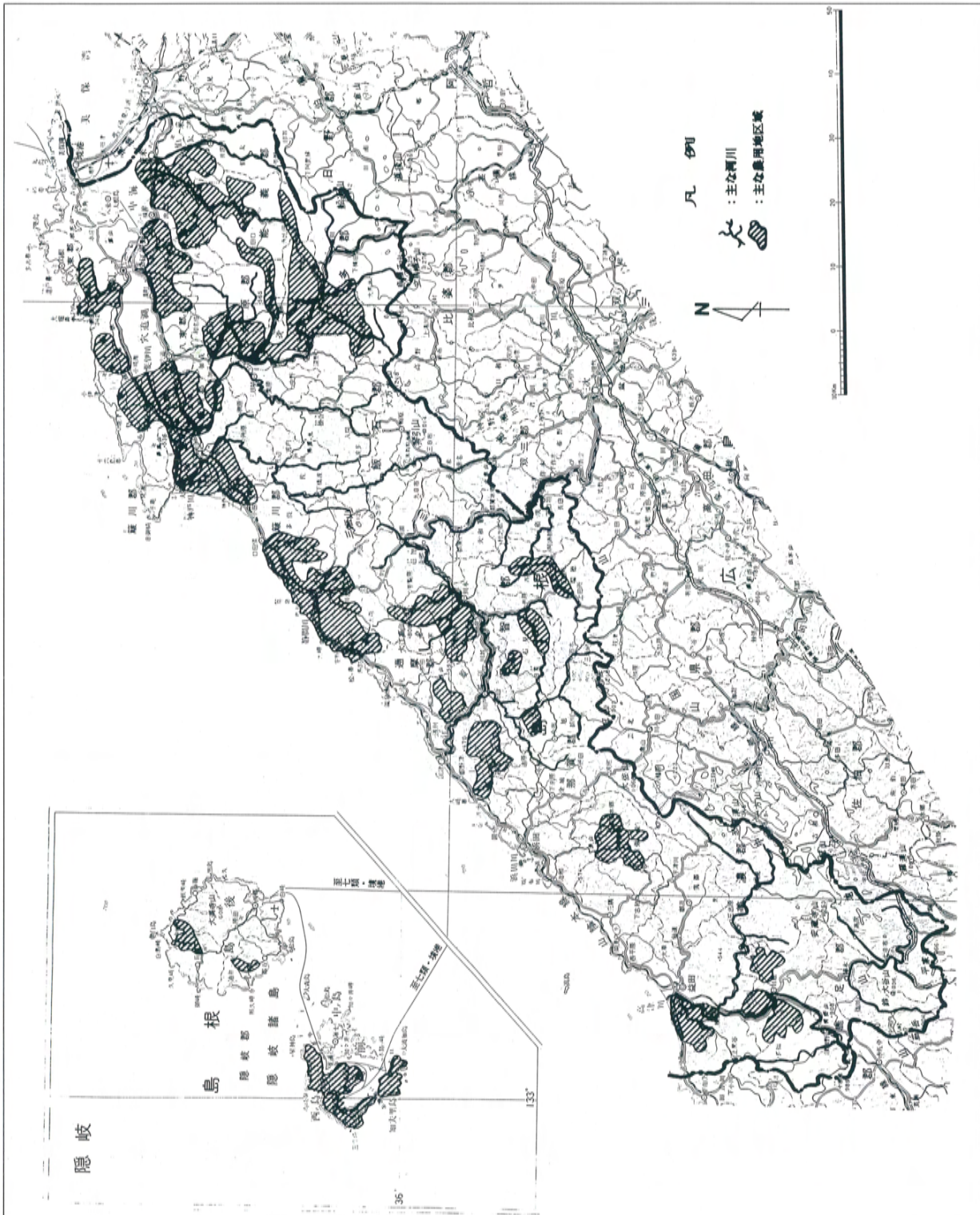
等



3. 川や道路に沿って形成される社会環境

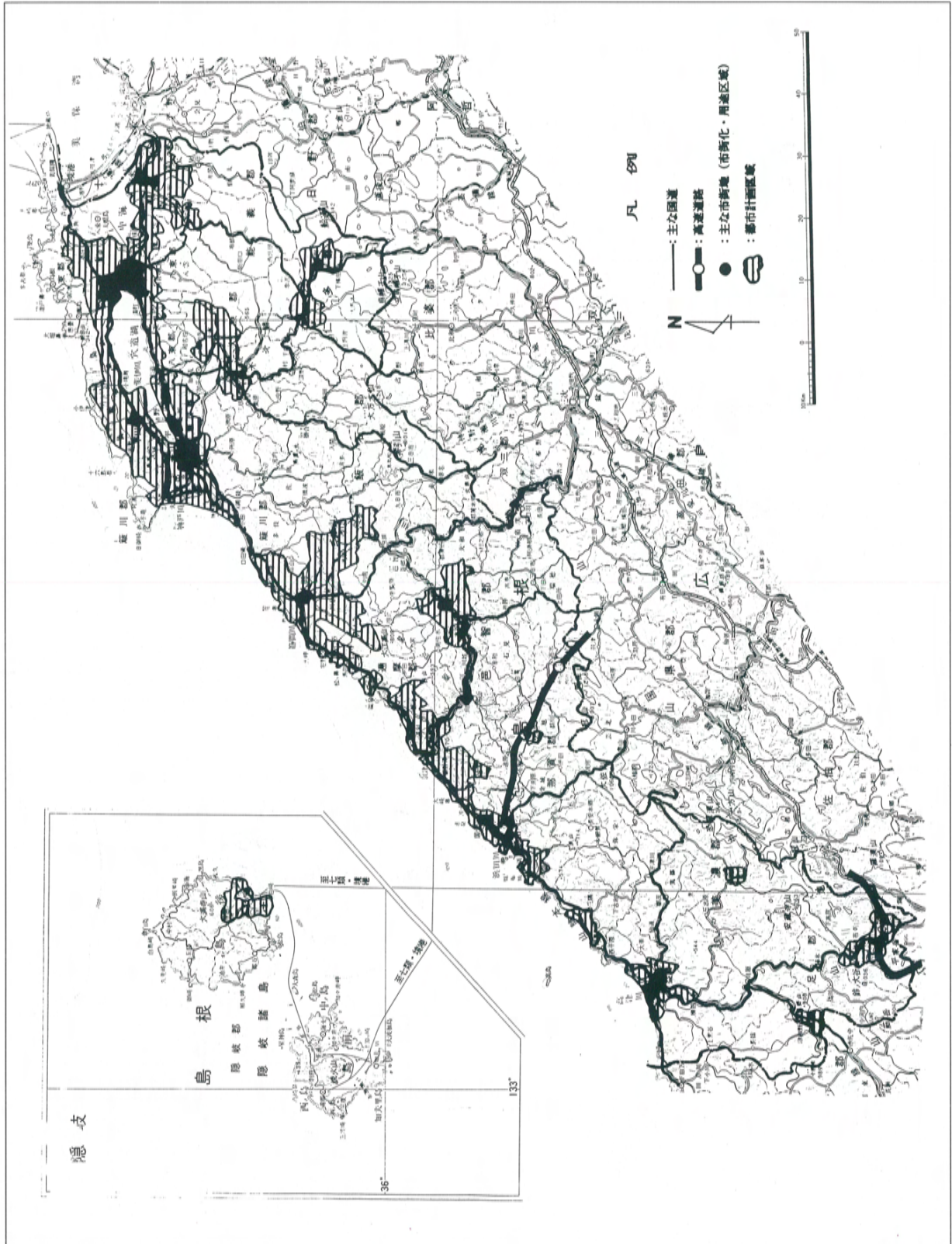
〈主な河川と農用地の分布〉

- 基本的な産業活動の場である農用地は、主要河川沿いに分布している。
- 出雲平野や松江平野等の出雲地域においては、宍道湖とあいまって広がりのある景観を呈している。
- 石見地域では大田、益田等に比較的まとまりのある農地が見られる。
- 特徴的なものとしては、出雲平野の築地松散居集落、大橋川中州部の農地、大根島のボタン畑、隠岐島前の牧草地等が独特の地域景観を呈している。



〈主な道路や市街地等の分布〉

- 人々の主な生活・経済活動の場である市街地は、国道9号をはじめとする主要国道沿いにその多くが分布している。
- 規模の大きなものとしては、県都松江、出雲、安来、大田、浜田、益田等で、特に松江は、眼前に広がる宍道湖とあいまって、風格のある水辺都市の景観を呈している。



2 県土の景観概況

1. 県土の景観概況

島根県は、その地理的・歴史的背景から“出雲”、“石見”、“隠岐”の3つの地域に区分され、それぞれの地域において、個性的な景観が展開しています。そこで、ここでは、後で述べる個別の景観特性の基盤となっている、この3つの地域の景観の概況を整理しました。

(1) 出雲地域

出雲地域の景観は、1千m級の急峻な山並みの続く中国山地山間部、本県のシンボルである宍道湖・中海とその周辺に展開するまとまりのある平野部、宍道湖の背景となる北山山系の山並みと変化に富んだ海岸線が連続する半島部、斐伊川・神戸川をはじめとする大小の河川とそこに点在する溪谷、といった地形的な特性が地域の景観を特徴づけています。そしてこれらを景観的骨格として、築地松散居集落、松江市街地、玉湯の温泉街、石州瓦の農・漁村集落、塩見縄手等の地域の歴史的・社会的背景に由来する、多様で特徴的な地域景観が展開しています。また、出雲大社や松江城、国庁跡等の歴史的な景観資源が多数点在し、地域景観にアクセントを与えています。

(2) 石見地域

石見地域の景観は、直線的で長大な海岸線とその海岸線付近まで迫る中国山地の山並み、優美な山容を呈する三瓶山と周囲に広がる高原、大江高山、青野山等の独立峰、中国地方最長の江川をはじめとする大小の河川と匹見峡などの峡谷、といった地形的な特性が地域の景観を特徴づけています。そしてこれらを景観的骨格として、海岸沿いの狭小な平野部に展開する大田、浜田、益田等の市街地、湯泉津の温泉街、大森銀山や津和野の街並み、山麓部に点在する石州瓦の盆地集落等の地域の歴史的・社会的背景に由来する、多様で特徴的な地域景観が展開しています。

(3) 隠岐地域

隠岐地域の景観は、標高608mの大満寺山を主峰とした500～600m級の山地からなるほぼ円形の島後、焼火山の外輪山に当たる知不里島、西ノ島、沖ノ島の島前3島及び180余の無人島からなる多島海景観を呈しており、いたる所に露頭したアルカリ岩の特異な地形と典型的なリアス式海岸、オキシクナゲやクロマツ林等のすぐれた自然資源が、島内の景観を特徴的なものとしています。また、西郷港周辺の市街地や海岸部の入り江に形成された石州瓦の漁村集落、国賀台地に広がる天然の牧草地、流人の島隠岐の歴史を伝える後鳥羽上皇御火葬塚や春日神社等の歴史的資源などが多様な地域景観を形成しています。

2. 景観から見た地域区分

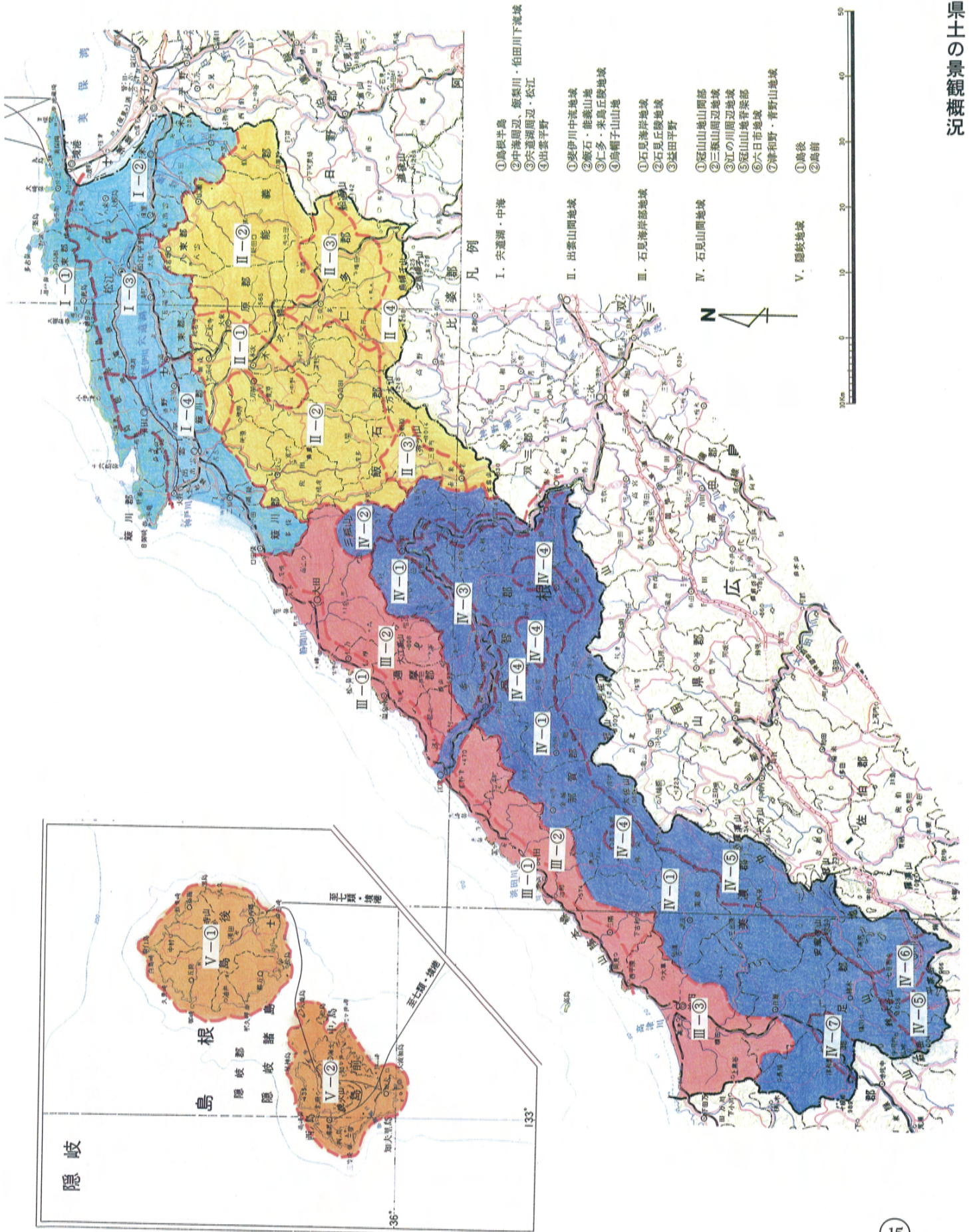
県土景観の骨格を成す要素として、①風土の基礎となる地形的条件、②心象に強く残る特徴的な要素群、③川や道路に沿って形成される社会環境の3つに着目することは、先に述べたとおりです。

平成3年3月に県で実施した“島根県景観基礎調査”では、この3つの観点を基に、“出雲”、“石見”、“隠岐”の3大地域について、さらに「景観から見た地域区分」を行い、5地域20区分としています。

●景観から見た地域区分

3大地域	地域	区分
1. 出雲地域	I. 宍道湖・中海周辺地域	①島根半島 ②中海周辺、飯梨川・伯太川下流域 ③宍道湖周辺・松江 ④出雲平野
	II. 出雲山間地域	①斐伊川中流域 ②飯石・能義山地 ③仁多・来島丘陵地域 ④鳥帽子山山地
2. 石見地域	III. 石見海岸部地域	①石見海岸地域 ②石見丘陵部地域 ③益田平野
	IV. 石見山間地域	①冠山山地山間部 ②三瓶山周辺地域 ③江の川周辺地域 ④冠山山地盆地群 ⑤冠山山地脊梁部 ⑥六日市地域 ⑦津和野・青野山地域
3. 隠岐地域	V. 隠岐地域	①島後 ②島前

図 景観から見た県土の地域区分



3. 各地域における景観特性と景観形成・保全上の課題

(1) 宍道湖・中海地域

① 島根半島

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 北山山脈の稜線を南側の境界とし、その山並みと日本海に囲まれた東西に細長い帯状の景域を成す。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 前面に広がる日本海に山裾が落ち込む、自然性の高い壮大なリアス式海岸の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 美保関港をはじめとし、背後に山並みの迫った天然の良港に展開する大小の漁港集落。
- 日御碕や地蔵崎等の白亜の灯台と青い海、険しい断崖が織り成す特徴的な岬。
- 神話・伝説の舞台として、また地域信仰の場として、静寂な印象を与える、鰐淵寺、美保神社等の神社仏閣。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 特筆すべき海岸景観の保全。



② 中海周辺、飯梨川・伯太川下流域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 中海の広大な湖水面を中心に、南北は枕木山山地（北山山脈）、宍道丘陵～飯石・能義山地（道後山山地）、西側は嵩山の稜線により景域の境界を成し、東側は鳥取県に広がりを見せる。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 中央に平坦な大根島が浮かぶ中海の湖水面、湖岸に展開する安来平野の田園集落と背山とが織り成す、穏やかで広がりのある景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 安来平野とは対照的に、湖に山裾が落ち込む変化に富んだ西～北側湖岸。
- 夏季は水無し川となる飯梨川と周辺に広がる田園集落。
- 都市基盤整備の進展する安来市街地や幹線道路沿道の街並み。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 幹線道路整備に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。
- 田園集落周辺部の新市街地進展に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。



③宍道湖周辺・松江

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 宍道湖の広大な湖水面を中心に、南北は大船山山地（北山山脈）、東側は高山の稜線により景域の境界を成し、西側は出雲平野にその広がりを見せる。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 宍道湖の穏やかな湖水面、国際文化観光都市松江の市街地と背景の緑濃い山並みとが織り成す湖畔都市の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 松江城を中心とした塩見縄手等の歴史的な街並み。
- 八重垣神社・神魂神社等、厳粛な印象を与える古社寺。
- 大橋川中州に広がる穏やかな田園。
- 都市整備の進展する松江市街地や幹線道路沿道の街並み。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 穏やかな宍道湖の景観保全。
- 新設幹線道路整備に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。
- 既存市街地周辺部の新市街地進展に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。
- 湖岸部における景観的配慮（新規観光レクリエーション施設等の規模・形態・色彩等）。
- 歴史的街並みに隣接する地区における景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。



④出雲平野

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 東西は日本海・宍道湖に広がりを見せ、南北は旅伏山山地～大船山山地（北山山脈）、宍道丘陵（道後山山地）の稜線により景域の境界を成す。

＜主たる景観印象とその要素＞

- のどかな田園の広がり、特徴的なアクセントである築地松散居集落、及びこれらの背山とが織り成す穏やかな景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 白く特徴的な砂蓮・砂州と青い水面の斐伊川。
- 古代文化発祥の地を印象づける荘厳な出雲大社。
- 都市整備の進展する出雲市街地や幹線道路沿道の街並み。
- 神話・伝説の舞台ともなった長浜等の砂丘海岸。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 田園地帯における生活様式の変化や松枯れ等に伴う、築地松散居集落の田園景観の衰退傾向。
- 新設幹線道路整備に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。
- 既存市街地周辺部の新市街地進展に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。
- 出雲市駅周辺開発整備事業における良好な景観形成の誘導。
- 歴史的建造物等と調和のとれた周辺の街並み整備。



(2) 出雲山間地域

① 斐伊川中流域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 斐伊川中流域及び主な支流沿いに展開する平地部をその景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- ゆったりとした斐伊川中流域の流れと、その河川沿いに展開する農地や背山が織り成す穏やかな景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 河川沿いの市街地や国道等に連担する都市的な街並み。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 穏やかな斐伊川中流域の河川景観の保全。
- 幹線道路整備に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。



② 飯石・能義山地

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 飯石・能義山地（道後山山地）の山間丘陵部を景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

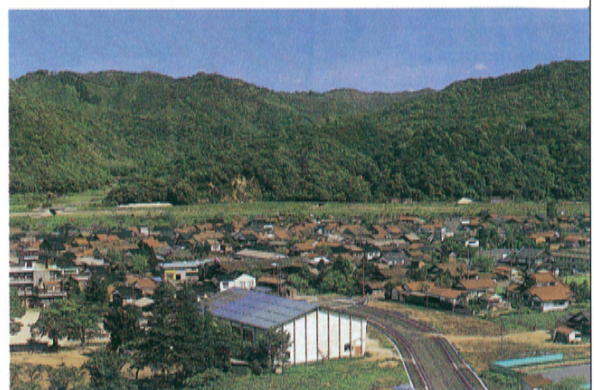
- 緑濃い山並みと小盆地や河川沿いに点在する集落が織り成す、自然性の高い中山間地農村の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 立久恵峡をはじめとする変化に富んだ峡谷。
- 伝統的な地域産業の面影を残す、菅谷たたら山内や朝日たたら跡等。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 山間部における自然性の高い景観資源（峡谷景観等）の保全。
- 幹線道路整備等に伴う景観的配慮（法面の修景、建築物・工作物等の自然景観との調和）。
- 志津見・尾原ダム整備に伴う修景対策。



③仁多・来島丘陵地域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 仁多町、横田町の町域及び烏帽子山山地の山裾まで広がる仁多丘陵と、神戸川上流部の来島ダム周辺に広がる来島丘陵を景域の範囲とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 緑濃い丘陵地と、その一部に展開する穏やかな田園集落の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 鬼の舌震等の変化に富んだ峡谷。
- 緑濃い山あいを開けた来島ダムの水辺。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 幹線道路整備等に伴う景観的配慮（法面の修景、建築物・工作物等の自然景観との調和）。
- 来島ダムの水辺の景観保全。



④烏帽子山山地

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 広島県・鳥取県との県境を南側の境界とし、船通山～女亀山に至る烏帽子山山地の脊梁部を景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 船通山～女亀山に至る烏帽子山山地の自然性の高い山間部の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 船通山・吾妻山等の山頂部や三井野原に見られるなだらかな高原。
- 琴引山山頂の岩窟や特異な形態の巨岩等。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 自然性の高い山地景観の保全。
- 観光レクリエーション施設（スキー場・リゾートホテル等）開発事業等に伴う景観的配慮（自然景観との調和）。
- 幹線道路沿道の修景（広島方面から本県に至る玄関口として）。



(3) 石見海岸部地域

① 石見海岸地域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 三隅町～大田市までの江の川河口部を除く長大な海岸線とその背山により景域を成す。

＜主たる景観印象とその要素＞

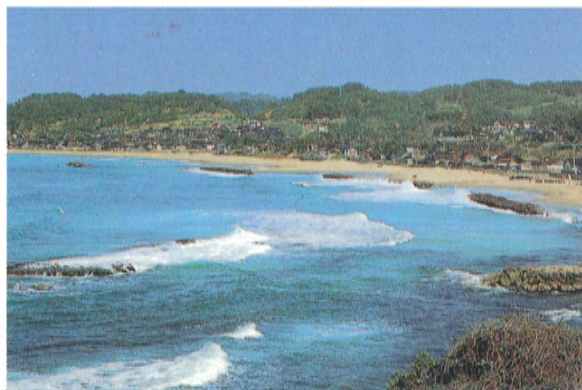
- 山地が迫る変化に富んだ長大な海岸線と、前面に広がる日本海とが織り成す海岸部の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 特徴的な赤い色調を有する石州瓦の家並み。
- 温泉津の特徴的な温泉街。
- かつて城下町として栄え、現在も国道沿いや鉄道駅を中心に展開する大田・浜田の市街地。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 白砂青松の砂浜海岸や特徴的な岩質海岸（畳ヶ浦等）の景観保全。
- 海岸部における防災保全対策等の実施に伴う景観的配慮（波消ブロック等の形態・色彩、工法等）。
- 海岸部に立地が予想される新規観光レクリエーション施設に対する景観的配慮（海岸線の連続性の保持、規模・形態・色彩等）。
- 新設幹線道路整備に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。



② 石見丘陵部地域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 東西に連なる石見地域の丘陵部（温泉津丘陵～大江高山～都野津丘陵～三隅丘陵）をその景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 大江高山を中心とする特徴的な鐘状火山と緑濃い穏やかな丘陵地の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 地域の歴史を物語る石見銀山周辺の街並み。
- 特徴的な赤い色調を有する石州瓦の家並み。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 石見銀山周辺における歴史的な街並みの景観保全。
- 粘土（石州瓦生産用）採取跡地の修景措置（緑化等）。
- 生活様式の変化に伴う石州瓦本来の独特な色調を有する家並みの減少傾向。
- 新設幹線道路整備に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。



③益田平野

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 東側は烏帽子山の稜線に、西側は山口県との県境に、南側は益田丘陵の稜線により景域の境界を成し、北側は日本海にその広がりを見せる。

＜主たる景観印象とその要素＞

- こんもりとした緑の丘陵に囲まれた平野部に展開する商工都市の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 日本海の白波が打ち寄せる、三里ヶ浜海岸の直線的な砂丘海岸。
- 「金地の瀬」とその付近に広がる砂州に特徴づけられる高津川中流域。
- 平野部に展開する農地と特徴的な色調の石州瓦の家並みが織り成す田園集落。
- 屈曲に富んだ複雑な湖岸線を有する蟠竜湖とクロマツ林。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 美しい海岸景観の保全。
- 空港建設等に伴う関連開発及びアクセスロードとしての新設幹線道路沿道における良好な景観形成の誘導。
- 既存市街地周辺部の新市街地進展に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。



(4) 石見山間地域

①冠山山地山間部

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 旧石見の国中央部を東西に帯状に連なる冠山山地の、比較的起伏量の小さい山間部をその景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 緑濃い山林と小規模な田園が織り成す比較的自然性の高い景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 特徴的な石州瓦の集落と河川沿いに見られる棚田。
- 山間の河川に展開する変化に富んだ溪谷等。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 自然性の高い地域景観の保全。
- 過疎化に伴う景観阻害要因（廃屋や耕地の放棄等）の出現。
- 新設幹線道路整備に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。



②三瓶山周辺地域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 三瓶山の特徴的な山体を中心に、火山性地形を呈する山麓周辺までを景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 優美な鐘状型の山容と、西の原・東の原の草原、浮布の池等が織り成す、雄大な高原と火山性地形の特徴的な景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 東西に雄大な広がりを見せる一面の牧野と、そこに遊ぶ乳牛達。
- 三瓶山を背景とした石州瓦の家屋と田畑。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 象徴的な三瓶山の景観保全。
- 想定されるリゾート開発に際しての景観的な誘導（特に国立公園特別地域及びその周辺における景観保全）。



③江の川周辺地域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- “中国太郎”の異名をとる中国地方最大の河川である江の川の河口部から県境部までの、狭小な平地から背山までを景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 豊富な水量を有し、ゆったりとした流れを見せる江の川や河岸の雄大な景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 狭小な河川敷に連担する農地、こんもりとした小樹林、水面、石州瓦の家並み等。
- 河口部に展開する江津市街地や工場群。
- 多様な色彩・形態を有する個性的な橋梁。
- 河川沿いの小規模な平地に点在する市街地。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 雄大な江の川の景観保全（水面、河畔、小樹林等）。
- 河川整備に伴う護岸の景観的配慮（形態・色彩・素材・緑化等）。
- 新規架橋設置に伴う景観的配慮（形態・色彩等）。
- 幹線道路整備に伴う景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。



④冠山山地盆地群

〔景観特性〕

<地域の範囲－景域の広がり>

- 周囲を500～800m級の山々に囲まれた冠山山地山間に点在する盆地と、その背山を景域とする。

<主たる景観印象とその要素>

- 緑濃い山々に囲まれた農地と特徴的な石州瓦の家並みが織り成す、穏やかな盆地農村集落の景観。

<その他地域景観を特徴づける要素>

- 自然性の高い山並み。
- 盆地内を貫流する河川。

〔景観形成・保全上の課題〕

- リゾート施設整備等における景観的誘導（穏やかな農村集落景観と調和のとれた規模規模・形態・色彩・意匠等）。



⑤冠山山地脊梁部

〔景観特性〕

<地域の範囲－景域の広がり>

- 広島県境部に位置する、恐羅漢山（1,346m）をはじめ、1,000m級の山々が連なる、冠山山地の脊梁部一帯を景域とする。

<主たる景観印象とその要素>

- 1,000m級の山々が連なる、極めて自然性の高い山岳の景観。

<その他地域景観を特徴づける要素>

- 山間の急峻な河川に展開する、匹見峽等の自然性の高い峡谷。
- 緑濃い山並みに囲まれた、特徴的な石州瓦の家並みの集落。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 自然性の高い山岳景観の保全。
- 過疎化に伴う景観阻害要因（廃屋や耕地の放棄等）の出現。
- 高速自動車道整備・リゾート施設整備等における景観的誘導（自然性の高い山岳景観と調和のとれた規模・形態・色彩・意匠等）。



⑥六日市地域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 東西は築山・盛太ヶ岳の稜線を、南北は県境、町界を景域の境界とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 緑濃い山並みに囲まれ、河川争奪により形成された比較的広い氾濫原の谷底平野に展開する、のどかな山村集落の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 中国自動車道六日市I・C等の近代的な道路。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 穏やかな山村集落の景観保全。
- 中国自動車道六日市I・C開設に伴い想定される周辺地域開発に際しての景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）



⑦津和野・青野山地域

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 周囲を山々に囲まれた津和野盆地に展開する市街地と、その東南の町界に位置する青野山火山群を景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 鐘状型の優雅な山容を呈する青野山を背景とした、城下町の面影を今に残す津和野市街地の歴史的な街並みの景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 特徴的な色調を有する石州瓦の家並み。
- 大小数々のコイが群遊する堀割と白壁土塀の街並み。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 歴史的街並みに隣接する地区における景観的配慮（建築物等の規模・形態・色彩等）。
- 生活様式の変化に伴う石州瓦本来の独特な色調を有する家並みの減少傾向。



(5) 隠岐地域

① 島後

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 隠岐諸島最大の島“島後”とその周辺海域を景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 緑濃いこんもりとした山体が海に浮かぶ島後固有の島嶼景観。＜その他地域景観を特徴づける要素＞
- 屈曲に富んだ複雑な海岸線と大小の島々が織り成す自然性豊かな白島海岸。
- 大満寺連峰に見られる“トカゲ岩”、“屏風ガ岩”等の奇石・怪石等。
- “オキシクナゲ”、“サイゴクミツバツツジ”等特徴的な花々。
- 天然の良港に点在する漁港集落。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 特徴的な海岸線や山岳の景観保全。
- 自然性の高い景観に配慮した、漁港・観光レクリエーション施設等の整備。
- 林道・農道整備に伴う沿道の景観的配慮。



② 島前

〔景観特性〕

＜地域の範囲－景域の広がり＞

- 西ノ島、中ノ島、知夫里島を中心とする“島前”の島嶼群とその周辺海域を景域とする。

＜主たる景観印象とその要素＞

- 屈曲に富んだ複雑な海岸線と、内海の穏やかな海面が織り成す自然性豊かな島嶼群の景観。

＜その他地域景観を特徴づける要素＞

- 国賀海岸や知夫赤壁等の壮大な断崖絶壁。
- 国賀台地等に広がる放牧地。
- 天然の良港に点在する漁村集落。
- “流人の島隠岐”の歴史を感じさせる、後鳥羽上皇御火葬塚等の歴史的資源。
- 中ノ島のまとまりのある平坦地に広がる田園集落。

〔景観形成・保全上の課題〕

- 特徴的な海岸線・島嶼地形の景観保全。
- 松枯れ対策の実施によるクロマツ林の保全・育生。
- 自然性の高い景観に配慮した、漁港・観光レクリエーション施設等の整備。



